



























香港、広州及び上海セミナーにおける質問及び回答




- Q1. 電池駆動の製品は   の対象か
- A1. 対象外です。   の対象範囲は、定格電圧が 100V 以上 300V 以下の交流の電路に使用する物です。
- Q2. 新規に  に追加されたポリオレフィン電線の 3 品目に適用される規格は何か
- A2. 電気用品安全法の技術基準の省令第 1 項が適用されます。詳細は、JET のウェブサイトの以下のアドレスをご参照下さい。(日本語のみが用意されています。) http://www.s-jet.com/data/new/dl/20070522_kaisei.pdf
- Q3.  製品に組み込まれる部品は、  マークが必要か
- A3. 必要ありません。完成品全体(部品は、技術基準の部品試験によって適否の確認が行われます)で試験されます。しかしながら、PSE マーク付の部品を使用している場合は、その部品についての試験は、原則省略されるのでマーク付きの部品を使用することを推奨します。
- Q4. S-JET マークを取得した製品は、  マークをつけることが出来るか
- A4. その製品が  の対象品目であれば、できます。S-JET 認証マークを取得した時には技術基準に対する適合性は確認されていますので、  マークをつけることが出来ます。ただし、  マークをつける権利と法的遵守義務は、輸入事業者にあります。
- Q5. 非対象のラップトップコンピュータに使用されている電源コード及びプラグには  マークが必要か
- A5. 電源コード及びプラグは、  マークの対象品目ですが、製品であるラップトップコンピュータが  の対象外製品ですので、電源コードが製品に直づけされている場合は、電源コード及びプラグは電気用品安全法の規制対象に当て嵌まりません。ただし、上記の製品が入力電圧 AC 100V 以上 300V 以下の範囲で使用される場合、もし、直流電源装置とコードセット(プラグ、電源コード、コネクタ)を同梱して使用する場合は、製品本体を除き、  マークが要求されます。
- Q6. 扇風機の羽根のガードの表面上に WARNING 表示は必要か
- A6. 羽根の前面及び背面(日本で一般的)または羽根のガードの見やすい個所に、注意表示が要求されます。

- Q7. 電源コード、プラグ及びコネクタはどのように認証を取得すればよいか
- A7. 電気用品安全法では、電線類 Cables and cords (品目は細分されています)、差し込みプラグ Attachment plugs、コードコネクタボディ/器具用差し込みプラグ Cord connector bodies/Appliance connectors という品名がそれぞれあるので、別々に  マークが必要です。IEC 規格に基づくヨーロッパ諸国には、これらの3点をまとめたコードセットという品目がありますが、電気用品安全法には、ありません。
- Q8. 申請者は工場をもっておらず、OEM でいくつかの工場が製造する場合、それぞれの工場が  の合格書を所持する必要があるか
- A8. それぞれの工場が  の合格書を所持する必要があります。
- Q9. 申請者が設計した製品を中国工場に製造を委託する場合、この設計会社が、 合格書の所有者になれるか。
- A9. 製品を製造する中国工場が  合格書の所有者になり、法人が異なる設計会社は所有出来ません
- Q10.  の製品を1工場で製造し、1つの試験レポートで複数の日本の輸入業者を使って輸出できますか
- A10. 製造業者は、日本にその製品を輸出できます。その製造者は、技術基準に適合した製品を複数の日本の輸入事業者を使って輸出できます。また、試験記録を保管しておく必要があります。輸入事業者毎に、製品に輸入事業者名を表記するなど法的義務を果たす必要があります。
- Q11. 輸入業者がまだ決まっていない場合、 及び S-JET マークを申請できるか
- A11. 申請できます。合格書を取得した後、製造者は日本の輸入事業者に対して、JET のような検査機関が発行した合格書の複本( の場合)を提供する必要があります。
- Q12. 部品を輸出する場合、 を申請する必要があるか
- A12. その部品が  の対象品であって、部品単品で日本の市場に販売する場合は申請し、合格書を取得する必要があります。その部品を完成品に組み込んで輸出する場合は、 マークは必要ありませんが、完成品に附属する部品の試験を行います。

Q13. ST とは何ですか

A13. Safety Toy (安全玩具) の略であり、玩具協会が管理している制度のマークです。協会は、玩具材料のプラスチックが有害物質等を含んでいないかどうか等を検査します。

Q14. S-JET と  の品目の区別はどのようにしますか

A14.  に含まれる品目は電気用品安全法で定められた 338 品目です。一方、S-JET 認証がカバーする品目は、 品目、 品目を含んだ全ての電気用品です。

以 上